

スパイラル芸能の宴 2013
『花 方』～序章「花の宴」

日時:2013年3月3日(日)16時開演
会場:スパイラルホール(スパイラル3F)

スパイラルは、2013年3月3日(日)に、スパイラル芸能の宴2013『^{はながた}花方』～序章「花の宴」をスパイラルホール(スパイラル3F)で開催します。

道にこころざし 咲き継ぐ花の いろいろなカタチ

俊英たちの凜として、みずみずしい、

若木の咲きぶりをながめて覚悟をうかがい、

伝承文化のゆくえに心を馳せる —

岩下尚史



青山亭主人 岩下尚史

—青山亭へようこそ。

スパイラルでは、新たなパフォーミング・アーツシリーズとして、『花方』をスタートします。スパイラルホールを青山亭と称し、近年テレビ出演などでユニーク且つ的確な視点で注目を集めている作家の岩下尚史が青山亭主人となり、日本の伝承芸能の目利きである主人の目にかなった、芸も姿も見目麗しい伝承芸能各界の花方*と共に、芸とトークをお楽しみいただける新企画です。

記念すべき初回は、“序章”と位置づけ、尾上菊之丞(日本舞踊)、都了中(浄瑠璃)、奥平清祥(生け花)といった次世代を担う継承者たちが集結し、分野の異なる才能が“青山亭”の舞台で華やかな共演を繰り広げます。そして、序章「花の宴」の見所として、伝承芸能に慣れ親しんだ方々は元より、初めて芸能に触れる方にも関心を持っていただけるよう、青山亭主人 岩下尚史と俳優の八嶋智人が進行を務め、出演者全員による、他では出会う事がかなわない貴重なトークをお届けします。

代々続く日本の文化に理解を深める若い世代も増えつつある昨今、さらにその輪を広げるべくスタートするこの新シリーズにどうぞご期待ください。

*花方とは 人気があり華やかなこと、人。昔は「花方」と記したが、現在では「花形」と表記が変わった。

いわしたひさふみ
岩下尚史プロフィール

新橋演舞場株式会社社在職中、企画室長として、劇場創設の母体である新橋花柳界主催「東をどり」の制作に携わる。2007年処女作『芸者論：神々に扮することを忘れた日本人』で新人としては異例の第20回和辻哲郎文化賞を受賞。これを機に、本格的な作家としての活動を開始。文学、美術、芸能、演劇、花街、きものなど、日本人の古典的な暮らしについて分かりやすく解説することができる稀有な存在として講演会のみならず、テレビ番組の出演など様々な場で活躍している。

取材に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル/株式会社ワコールアートセンター 広報部 瀧本恵理、加藤美穂
TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848 〒107-0062 東京都港区南青山5-6-23
E-mail press@spiral.co.jp http://www.spiral.co.jp/

spiral®

当日の進行イメージ

オープニングトーク	岩下尚史
花と浄瑠璃	奥平清祥、都了中
MC	八嶋智人、岩下尚史
浄瑠璃と舞踊	都了中、尾上菊之丞
トークセッション	岩下尚史、尾上菊之丞、都了中、奥平清祥、八嶋智人
エンディングトーク	岩下尚史

◆演目(予定)◆

◆ [花と浄瑠璃] 花所望「細雪の春」

出演：奥平清祥、都了中

一中節『花の段』。作詞・谷崎潤一郎、節付・二代目都一廣。

昭和二十八年、新橋演舞場の「京舞の会」に於いて初演。小説『細雪』の姉妹が、平安神宮の紅しだれに嘆賞し、花のうつろいと身のゆくえを重ねる名高き場面を、谷崎みずから詞章を選び、親交の深い都一廣が節を付けた。西京の極彩色を、銀座の水で洗い上げた昭和の古典。

◆ [浄瑠璃と舞踊]

出演：都了中、尾上菊之丞

一中節『都見物左衛門』。節付・二代目都一中。

享保十一年（一七二六）、江戸市村座に於いて初演。気楽な境界の見物左衛門が、おんな歌舞伎をのぞきに出かけようと、洛中の名物をたずねながら、花ざかりの春と恋とをことほぎ、万物の再生を祝う。

開催概要

スパイラル芸能の宴 2013 『花方』 ～序章「花の宴」

会期	2013年3月3日(日)16時開演(15時30分開場予定)
会場	スパイラルホール(スパイラル3F) 東京都港区南青山5-6-23
チケット料金	前売3,000円/当日3,500円
チケット発売開始日	2013年2月2日(土)
チケット取扱い	カンフェティチケットセンター、スパイラル
お問い合わせ	03-3498-1171(スパイラル代表)
主催	株式会社ワコールアートセンター
企画協力	シス・カンパニー
企画制作	スパイラル

出演者プロフィール

■尾上菊之丞（おのえ きくのじょう） 尾上流 四代家元

1976年東京都生まれ。尾上墨雪（尾上流三代家元・二代尾上菊之丞）の長男として生まれる。1981年「松の緑」で初舞台（5歳）。1990年に尾上青楓の名を許され、日本舞踊家として本格的に活動を開始。2011年尾上流四代家元を継承し、三代目尾上菊之丞を襲名。自身主宰のリサイタルをはじめとして、(公社)日本舞踊協会公演、国立劇場公演など出演多数。更には歌舞伎俳優や能楽師、その他幅広いジャンルのアーティストとのコラボレーションなどにも積極的に挑戦している。また、振付師としても、「NINAGAWA 十二夜」をはじめとする歌舞伎公演、宝塚歌劇団、万博の振付、花街舞踊「東をどり」「鴨川をどり」の振付・演出も手掛けている。舞踊批評家協会新人賞（2010）、花柳壽應賞新人賞（2012）を受賞。

■都了中（みやこ りょうちゆう）^{いちゅうぶし} 一中節 都派 家元後継

1980年東京都生まれ。幼少の頃より、日本の伝統音楽である一中節を、父及び先代都一中師について稽古を始める。1997年都了中の名を許される。2002年福井県武生国際音楽祭に招待をされる。2006年9月～2007年3月ACC(Asian Cultural Council)のフェローシッププログラムにてニューヨークに滞在。6ヶ月間研修を行う。2007年東邦音楽大学エクステンションセンターにて「浄瑠璃基礎講座」を受け持つ。2009年六本木武原舞台にて「第一回都了中の会」を主催。2011年同武原舞台にて「第二回都了中の会」を主催。現在演奏会、舞踊会に於いての演奏、ラジオ出演、浄瑠璃指導、その他スタジオジブリ映画「千と千尋の神隠し」イメージアルバム（CD）に歌で参加など幅広い活動を精力的に行っている。1stアルバム「RYOCHU」発売中。

■奥平清祥（おくだいら せいしょう）^{せきそうりゅう} 石草流 家元後継

1978年東京都生まれ。慶応義塾大学総合政策学部卒。幼少より慣れ親しんだいけばなの道に進み、平成16年よりホテルオークラ東京での館内装花を担当。同時に、博報堂生活総合研究所でのフリープランナーを経て、現在はLVMHグループでハイエンド・マーケティングの戦略立案に関わる。ホテルオークラを飾るために立ち上げられた石草流いけばなでは、国内外のお客様やVIPをおもてなしする精神とかたちを学び、家元を就任した母の助手と新人の育成にあたる。和洋混合のスタイルとリズムになった現代の生活やビジネスに、自然やアートでいかに潤いと彩りを取り入れられるかを研究・提案。分野を横断連携して、日本文化の継承と次世代への訴求を図る活動・ネットワーク形成に努めている。



■八嶋智人（やしま のりと） 俳優

1970年奈良県生まれ。1990年に劇団カムカムミニキーナを松村武らと旗揚げ。以降、主要メンバーとして活躍。野田秀樹、三谷幸喜、ケラリーノ・サンドロヴィッチ、長塚圭史等の演出作品でも舞台俳優として活躍。個性的で親しみやすいキャラクターで人気を集め、多くのテレビドラマ、映画、CM、バラエティ番組への出演で好評を博している。舞台・TVドラマ・CMだけでなく、司会やナレーションの仕事も多く、2012年度は六本木の森アーツセンターで開催された「大英博物館 古代エジプト」展のオーディオガイドを担当するなど、その活躍の場は多方面に広がっている。

